

.....
題 言
.....

山河春色工事酹也

山も佳し、海も佳し、河にも、道路にも、都市到る處に、晴天の日、春光を浴びながら、人間興隆の事業を地上に基礎づけ行く、工事關係者は無上の榮光に生きるものである。

自然を相手さし、唯工事に親しむ時、人生に何の苦悶があらう、人間さしての煩ひは土の香中には毫末もない、實に春は工人の目醒める時である。

工事執行組織の改善案

工事改善案が東京市の建築局から提案されるこの事である。案の内容は本號に紹介する通りである。

土木建築一般工事に關係する先覺者は何人も注意されねばならぬ問題である。而して其等の案が如何に實行せらるゝか、要するに唯實行の問題である。

眞剣に働くべく如何なる方法を執るか。

大阪の二月五日

日本の無産政黨たる労働農民黨が成立して、杉山元次郎さ云ふ縣立農業學校出のクリスチャンが執行委員長に押された、大正十五年二月五日、大阪市に於ける其結黨式は日本國民の生活史上の重大なる出來事である。

來るべき第一回の普通選舉後は國民の政治的意識が必ず此の労働農民黨か實業同志會の如きに向ふ筈である。

武藤山治氏の實業讀本

□
空論は誰でも吐くが實行は容易ならざるものである。武藤氏が四十年來の公正なる實行の體驗が、今や熱烈なる血汐さなつて國民政治の覺醒運動に注がれてをる時に當り、實業讀本の出版されたる事は頗る意義ある事である。

□
内容は物質主義を排して精神主義を説き、合理的に國民生活の政治的覺醒を促すものである。故大隈伯の國民讀本よりも印象の強い讀物である。

□
從來さても武藤氏と同様な公正なる態度を執つた人も多くあつた事さ思はれるが、協同の力がない爲に、少數なる不良實業家に壓迫されてをつたのである。私は本書を讀んで初めて武藤氏を知り、實業同志會の偉大さを知つた。普通選舉後の實業同志會は必ず多數の共鳴者を得る事さ思はれる。

□
本書は資本家も労働者も中間階級者も必ず一讀しなければならぬものである。定價僅かに一圓で然も各自が公私の生活上に何等かの強き信念を喚起する事疑ひない處である。